

岡谷市議会 6 月定例会一般質問要旨について（生涯学習課分）

○今井 義信議員

3 文化財行政について

埋蔵文化財保管場所



主 務	主 幹	館 長	課 長	部 長	教育長
					

◇ 今 井 義 信 議 員

3 文化財行政について

埋蔵文化財保管場所

平成29年3月に生涯学習課分室について一般質問をしました。耐震化につきましては、将来の移転ということも視野に入れ、課題として考えていると答弁をいただきました。それから既に5年の時間が経過しています。現在の生涯学習課分室を今後どのようにしたいのかお伺いをします。

建物の状況は、岡谷市公共施設白書2019年度版127ページ記載、現状劣化度は41.56であり、建物品質築年数69となっていて、劣化度に関する偏差値は生涯学習課分室が最も低い数値になっています。1年に分室の状況を見に行ってきました。ストーブはありましたが、コートは脱げませんでした。毎日作業に当たる職員さんは、夏や冬に大変な思いをしていると思っています。令和3年3月に公共施設個別施設計画が策定されました。出土品の保護、調査、記録のためにも、計画に先行していく必要があると考えますが、生涯学習課分室に対しての考え方を伺いをいたします。

○白上教育部長答弁

市では、平成28年5月に岡谷市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の適正管理及び有効活用の推進に関する基本的な方向性を示すとともに、岡谷市公共施設白書を毎年発行して、公共施設等の適正管理に取り組んでいるところでございます。また、今年3月には公共施設の適正管理を具体的に進めていくための基本方針となる岡谷市公共施設個別施設計画を策定し、計画的な推進を図ることとしております。

この計画において、生涯学習課分室につきましては、老朽化が顕著であり、建設から70年が経過し、建物の寿命を迎えることから、他の市有地、市所有施設への移転を含めて検討し、第1期計画期間において今後の方向性を決定しますとしております。今後も適正な出土品の保護、管理、記録の整理等に努めるとともに、岡谷市公共施設個別施設計画の方針に沿って検討してまいりたいと考えております。

○今井義信議員2回目

生涯学習課分室の中には、おびただしい量のこれから調査されるであろう出土品が所狭しと保管されています。全国的にも珍しい一對の矢柄研磨器は、美術考古館に収蔵されていると聞いています。耐震化がなされていない建物の中で今後の調査の方法と管理をどうされていくのか、記録をまとめて報告書として発表していくのか、また、別の場所での出土品の保管は考えているのか、早急に事業推進していくことが望ましいと考えますが、行政としての考えをお伺いします。

○白上教育部長答弁

生涯学習課分室では、市内遺跡発掘調査で出土いたしました土器や石器などの保管のほか、出土した遺物の洗浄作

業や整理、発掘調査報告書の作成等を行っており、重要なものにつきましては、岡谷美術考古館の収蔵庫で保管をしております。分室の建物は建築から70年余りが経過し、耐震化がされておらず、老朽化も顕著であることから、大変心配な部分もございますが、引き続き適切な維持管理に努めるとともに、作業管理に当たっては細心の注意を払いながら業務を行ってまいりたいと考えております。

記録のまとめ及び報告書についてでございますが、現在、国庫補助金を受けて発掘作業を行っている小規模開発事業の緊急発掘事業については、年度ごとに発掘調査報告書を作成し、国に報告をしております。それ以外の試掘・発掘確認調査の報告書の作成については、多大な時間と手間がかかるということもあわせて、順次作業を進めているところでございます。

古い施設で快適な環境ではございませんが、執務環境の改善にも配慮してまいりたいと考えております。また、別の場所での出土品の保管については、現段階では考えておりませんが、生涯学習課分室につきましては、先ほど申し上げましたとおり、岡谷市公共施設個別施設計画に基づきまして、第1期計画期間の中で検討いたしまして、今後の方向性を決定してまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

#### ○今井義信議員 要望

作業、管理については注意をして、報告書は準備を進めている。また、別の場所での保管についても、今後決定をしていくといった答弁だったと思います。分かりました。ありがとうございました。

埋蔵文化財出土品の収蔵庫には、美術館収蔵品の管理のように温度調節、湿度調節機能は必要がないと聞いています。全国の出土品の収蔵庫を見ると、見学ができたり、体験学習ができたりする施設もあると聞いています。出土品の収集、洗浄、調査、記録が作業の流れです。

地域団体商標登録、埋蔵文化財の保護については、少子化対策、移住・定住への足がかり、U I Jターンなど、将来的に大きな可能性を持っていると思っています。文化財行政は大学の基礎研究のように表に出る機会は少ない事業です。しかしながら、今のあるのは過去からの積み重ねだと思っています。時間と労力がかかる大変な事業であり、一朝一夕にはできない事業であるがゆえに、一部局のことでなく、関わる部局が連携し、真剣に取り組んでいただくことを要望し、私の一般質問を終了します。ありがとうございました。